

## 第7章 新エネルギー導入の推進に向けて

塩竈市の新エネルギー導入の推進に向けて、新エネルギービジョンの基本理念「塩竈の特性と地域資源を生かした地域活性化」と基本方針「21世紀の自然と共生するまちづくりのために新エネルギーを先進的に利用する」の実現に向けた目標設定、行動計画とそれらに基づくハードおよびソフト事業の推進を図ることとする。

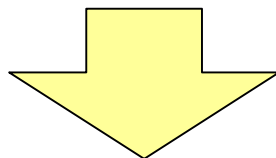
### 7.1 化石エネルギー消費量の削減目標

本ビジョンは「第四次塩竈市長期総合計画」および「塩竈市環境基本計画」の実行プランのひとつに位置づけられていることから「自然と共生し環境負荷の少ない快適に暮らせるまちづくり、塩竈の特性と地域資源を生かしたまちづくり」を、エネルギー面から具体的に実現するために、新エネルギーの導入に加えて日常の省エネルギー活動による削減効果を加味した、塩竈市の中期的な「化石エネルギー消費量削減目標」をつぎのとおりとする。

#### 塩竈市の化石エネルギー消費量削減目標

2010年度までに、30,000 kL（原油換算）を削減する。  
（2003年度消費量（原油換算 196,000 kL）の15%相当）

さらに、将来的な長期目標として、以下を念頭におくものとする。

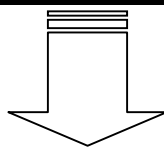


#### 将来的な化石エネルギー消費量削減目標

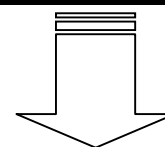
2014年度以降将来に向けて、50,000 kL（原油換算）を削減する。  
（2003年度消費量（原油換算 196,000 kL）の25%相当）

## 目標達成に向けた事業内容と規模

		2010 年度目標値	将来目標値 (2014 年度以降)
		導入規模と削減量 (原油換算)	導入規模と削減量 (原油換算)
新 エ ネ ル ギ ー 導 入 事 業	リサイクルエネルギー活用事業 ＜廃食用油利用 BDF 製造 システム導入事業＞	BDF 製造プラント (2.5 kL/日) 1 基を導入  <b>374 kL</b>	BDF 製造プラント (5.0 kL/日) に導入拡大  <b>748 kL</b>
	自然エネルギー活用事業 ＜太陽光発電・太陽熱利用 システム導入事業＞  * 太陽光発電システム  * 太陽熱利用システム	市内全事業所数および全世 帯数の 1/4 に導入 主要公共施設の 1/2 に導入  <b>1,420 kL</b>  <b>6,220 kL</b>	市内全事業所数および全世 帯数の 1/2 に導入拡大 全主要公共施設に導入拡大  <b>2,840 kL</b>  <b>12,440 kL</b>
	環境にやさしいエネルギー活用事業 ＜クリーンエネルギー 自動車導入事業＞  * ハイブリッド自動車	市内全乗用車台数の 1/3 に 導入  <b>2,490 kL</b>	市内全乗用車台数の 2/3 に 導入拡大  <b>4,980 kL</b>
	<b>新 エ ネ ル ギ ー 導 入 合 計</b>	<b>10,504 kL</b>	<b>21,008 kL</b>
省 エ ネ ル ギ ー 行 動 の 推 進		5%の省エネ推進 <b>9,788 kL</b>	7.5%の省エネ推進 <b>14,682 kL</b>
高 効 率 機 器 の 普 及 促 進		5%の化石エネルギー削減 <b>9,788 kL</b>	7.5%の化石エネルギー削減 <b>14,682 kL</b>
<b>化石エネルギー削減量 合計</b>		<b>30,080 kL</b>	<b>50,372 kL</b>



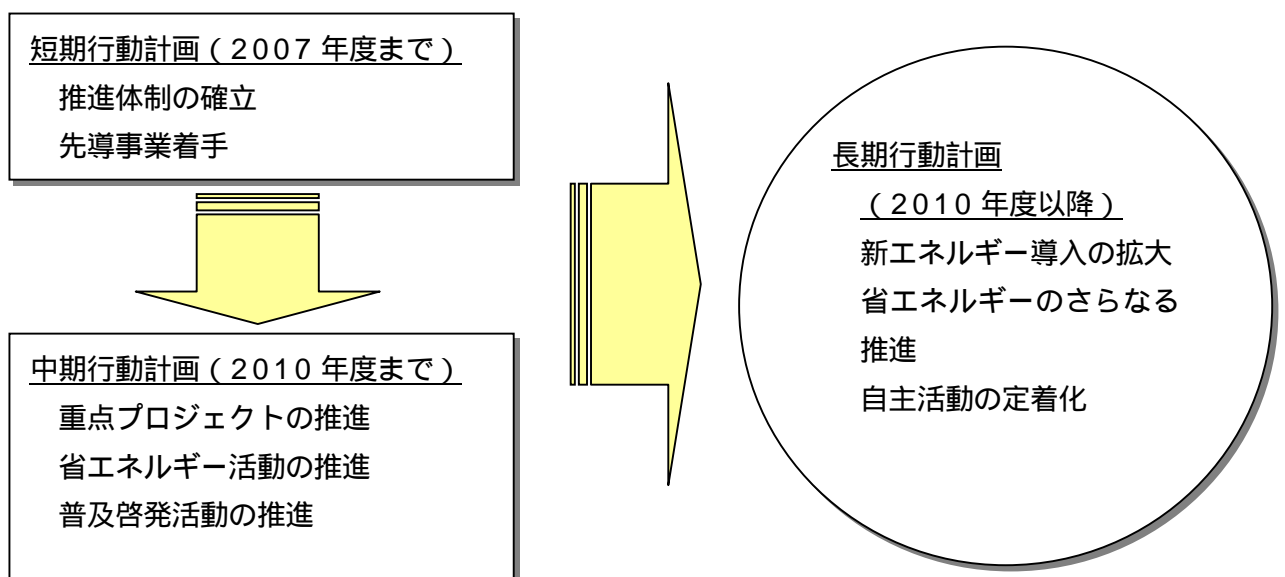
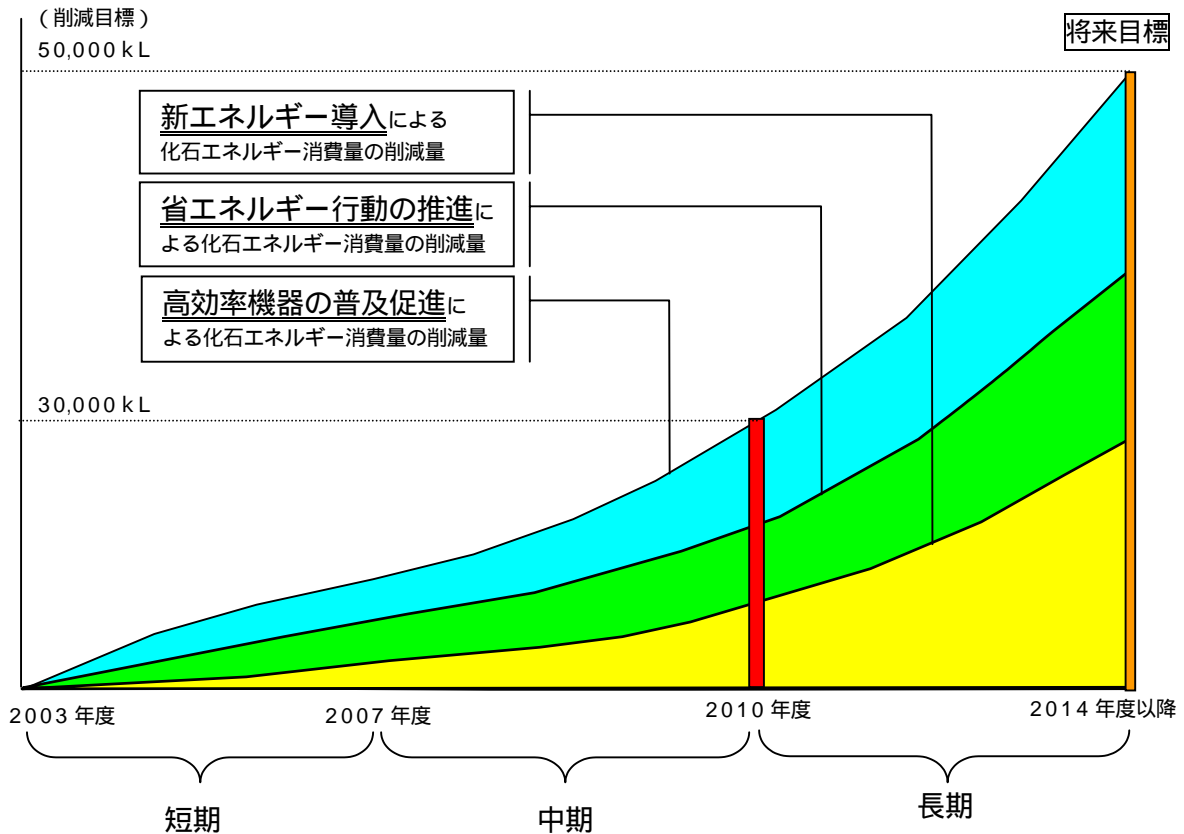
削減目標  
30,000 kL



削減目標  
50,000 kL

## 7.2 行動計画

新エネルギー導入推進として、「化石エネルギーの削減目標」に基づき 2010 年度までを中期、2010 年度以降を長期として行動計画を以下のように定める。



新エネルギーの導入推進スケジュールは以下とする。

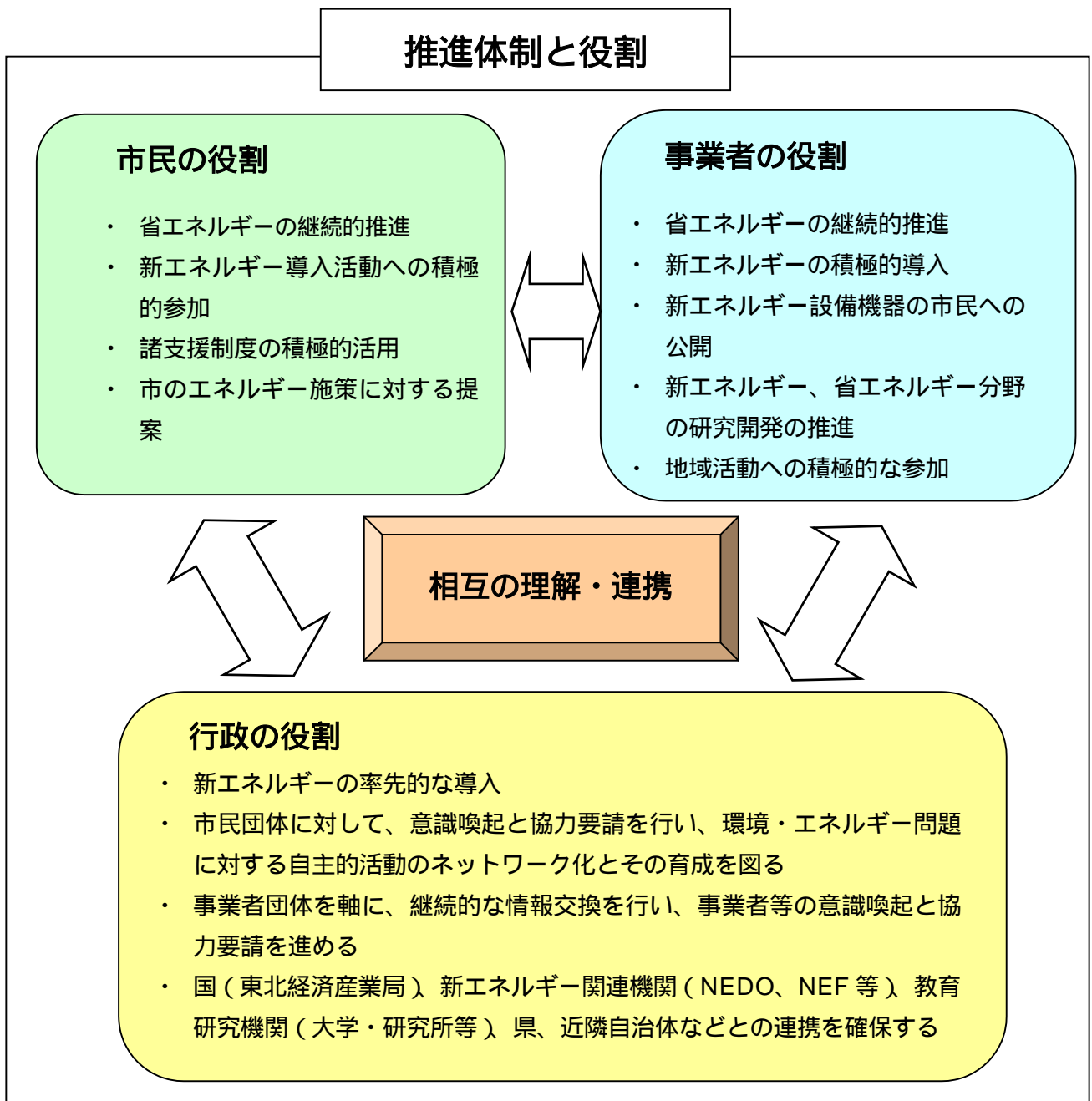
### 新エネルギー導入推進スケジュール

2003年度	短期	中期	長期
	体制確立 先導事業	計画展開 導入促進	運動定着 自主活動
	2004年度	2007年度	2010年度
新エネルギービジョン策定	市民・事業者への情報提供・啓発活動開始		
<重点プロジェクト事業> ハード事業			
・リサイクルエネルギー活用事業<廃食用油利用BDF製造システム導入>	詳細調査・事業性検討	基本計画・事業計画	事業開始
・自然エネルギー活用事業<公共施設への太陽光発電・太陽熱利用システム導入事業>	詳細調査・事業性検討	基本計画・事業計画	事業開始
・自然エネルギー活用事業<一般住宅への太陽光発電・太陽熱利用システム導入事業>	普及啓発	導入促進	
・環境にやさしいエネルギー活用事業<クリーンエネルギー自動車導入事業>	導入促進	導入促進	導入促進継続
ソフト事業			
組織・相談窓口・情報収集	→		
啓発・PR活動	→		
助成制度検討	→		
ネットワーク作り・育成・支援	→		

### 7.3 推進体制

新エネルギービジョン策定時の「庁内検討委員会」の機能を継続させ、塩竈市の新エネルギー導入推進母体とし、庁内組織の横断的なプロジェクトチームなどの実行グループを編成して、地域全体への導入促進を推進する。

また、本ビジョン策定後も継続的に、市民・事業者、研究教育機関（大学・研究所等）や支援協力機関と行政が連携・協力し、それぞれの役割を推進することで、実現を図っていくものとする。



## 7.4 ハード事業

### (1) 重点プロジェクトの展開

将来的に塩竈市の活性化に結びつく可能性が高い先進的なプロジェクトとして掲げた以下の事業については、実施に向けて更に詳細調査および事業性検討を継続する。特に、公共施設を新たに設置あるいは改修を計画する場合には、率先して新エネルギーの導入を検討する。

リサイクルエネルギー活用事業

< 廃食用油利用 BDF 製造システム導入事業 >

自然エネルギー活用事業

< 公共施設への太陽光発電・太陽熱利用システム導入事業 >

環境にやさしいエネルギー活用事業

< クリーンエネルギー自動車導入事業 >

### (2) 主要プロジェクトの展開検討

重点プロジェクト以外の主要プロジェクトとして掲げた事業や、新たに創出される計画などについても継続的に検討する。

## 7.5 ソフト事業

### (1) 新エネルギー・省エネルギーの普及・啓発活動

相談窓口の設置と情報発信の充実化（情報収集・広報活動・情報提供）

庁内コンセンサスづくり（庁内横断的な推進体制づくり）

普及啓発・教育活動（教育プログラム・イベント参加）

### (2) 新エネルギー・省エネルギー普及の仕組みづくり

経済支援制度の必要性、可能性の検討

自主活動に対する支援体制の検討

- ・ 展開のためのネットワークづくり（市民・事業者・団体、大学等教育研究機関、近隣市町村・県・国および諸機関との連携）
- ・ 人材育成プログラム（市民、団体リーダー、教職員、市職員）

## 7.6 地域資源を活かし自然との共生をめざして

塩竈市の将来に向けて「自然と共生し環境負荷の少ないまち」を実現するためには、わたしたちの日常生活に直結したエネルギー問題に対して、市民・事業者・行政が積極的にそれぞれの役割を担い実践していくことが大切である。

そのためには、今後も引き続き、本ビジョンの各テーマについて再考と検証を加えながら本ビジョンの充実を高めるとともに具体的な事業化計画の策定に取り組み、地域循環型都市の実現を目指すこととする。

